

カンボジア通信

カンボジア教育支援基金 (KEAF-Japan) 会報

2020 年 12 月

97 号

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5

JICA地球ひろば気付

カンボジア教育支援基金事務局

info@keaf-japan.com

http://keaf-japan.com



コロナ第3波で総会延期

東京など医療ひっ迫

現地活動の再開見通し立たず

新型コロナの感染が始まって1年。クリスマス、年末年始へ向かって第3波が欧米、アジア、アフリカと世界中に広がり、日本も感染者、重症者、死者のいずれでも第1波を上回る蔓延に襲われ、東京、大阪、北海道などは医療崩壊の危機に迫られています。カンボジアの子どもたちの支援にかかわってきた KEAF の活動は3月以来、ストップがかかったまま。例年10～11月に開催してきた総会は当分の間、延期せざるを得ないと判断しました。

奨学金の給付や教材・学用品の支援など KEAF の活動は、カンボジアの学校暦に合わせて、9月から翌年8月を活動年度にしています。その1年間の活動を締めくくる活動報告と決算報告、および次年度活動の計画と予算を提示して承認を求める第22回総会は11月に開催する予定を組んでいました。しかし約100人の会員および定期的資金援助の皆さんに出席をお願いして開催する総会は、東京のコロナ感染拡大の下では自粛すべきと考えました。

3月訪問、出発直前に中止

2020年度の主な活動として、2019年11月の奨学金の前期分を届けるための現地訪問と、2020年3月初めの高校生と教員養成所学生への奨学金支払いのための現地訪問準備がありました。この3月訪問が出発直前にコロナ感染が始まったために、キャンセルすることになりました。

その後、カンボジアの子どもたちや学校がどうなっているのか全く分からなくなってしまいました。年度末を前にした8月、いつも現地活動の手助けを頼んでいる日本語ガイド、ソワン氏に現地調査を委託しました。その報告は会報96号に詳しく掲載しました。

東南アジア諸国は欧米と比較すると、コロナ感染の抑制にかなり成功しています。そのなかでもカンボジ



写真:風が通る校庭で奨学生面接。プラティアート中学で

.....

アは世界保健機関 (WHO) から「大規模な感染の封じ込めに成功」と評価されています (3頁の池内秀樹レポート参照)。しかし、それはフン・セン政権の強権による迅速かつ厳しい「封鎖政策」によるところが大きく、私たちの支援活動のための渡航と現地滞在の規制が早く解かれるということにはならないと思います。

支援活動の再開には日本側の感染が十分に抑え込まれることも条件になります。2021年度に入ってから既に4カ月が経ちましたが、この年度内に活動再開が可能になるかどうか、残念ながら、今はその見通しは立てられません。

コロナ以後の支援活動は?

コロナ以後の世界はコロナ以前の世界とは違ったものになる、と言われています。そんな大げさなことではありませんが、KEAFのカンボジアの子どもたちの教育支援の在り方も、少し違ったものになると考えています。

私たちは教員養成所学生1、2年生の12人に年100ドルの奨学金を出してきました。奨学生は2年間で教員資格を取ると、ほとんどが出身地の学校の先生になってUターンします。地域の教育環境のレベルアップに効果的なプログラムです。カンボジア政府はこの制度を2024年から4年制に拡充する計画でしたがコロナ禍を機に2021年度の新入学生募集を取りやめました。

(次頁に続く)

計画を繰り上げて 4 年制への移行を急ぐようです。それがいつからかはまだわかりませんが、そうすると現在の人員枠をそのままにしても、原資は 2 倍かかることになります。

高校奨学生は現在の枠は 1 学年 50 人まで、合計 150 人以下としてきました。高校進学を希望する中学 3 年生の中から勉強意欲、家庭の経済状況などをもとに校長先生に推薦を依頼、面接の上で奨学生を決めています。長らく現地訪問ができないので、訪問再開になっても奨学金支援を再開するには時間がかかります。

こうした事情を考えると、2021 年度は子どもたちへの支援活動を実際に再開するのは難しいだろうと、腹を固めています。

現地活動再開待ち

もうひとつ、心配なことがあります。カンボジア経済はアンコールワットを訪れる外国からの観光客に大きく依存しています。そのため観光入国のビザは到着空港で簡便に入手できました。私たちも観光あるいは友人訪問の目的でこのビザを利用してきました。コロナ以後、こうした自由な訪問が規制されることはないのか、それが気がかりです。



アンコール王朝より 2 世紀ほど古い
コー・ケ王朝遺跡から出土



「クメールの微笑」 アンコールトム遺跡

カンボジア政府は欧米のカンボジア支援 NGO あるいは NPO が政府の人権抑圧を取り上げることに神経をとがらせていて、そうした団体の活動の規制を強めています。KEAF のような少数の高齢者グループからなる任意団体の活動にもその影響が及ぶ可能性があるかもしれないからです。

こうした様々な事情があつて、今は 2021 年度の具体的な活動計画を立てることが難しくなっています。そのためにクラウドファンディングによる財政強化への挑戦も、今は中断しています。

2020 年度活動・決算

第 22 回総会では(1)2020 年度(2019. 9-2020. 8)の活動報告と決算報告、(2)2021 年度(2020. 9-2022. 8)の活動計画と予算、を提示して承認をいただくことになっていました。総会は延期しましたが、これらの文書をそのまま 4 頁から 8 頁に記載しました。

2021 年度の活動計画と予算は、具体性のあるものは描けませんが、年度内に現地訪活動の再開が実現したと仮定して、例年のパターンに沿ったモデルです。

総会であれば、口頭で詳しく説明し、討論の承認をお願いすることになりますが、それはできません。会員、支援者の皆さんにお目通しをいただき、率直なご意見を寄せていただければありがたく受け止めます。

(金子敦郎)

強権で「コロナ」封じ込め

カンボジア、WHO が高く評価

池内 秀樹

新型コロナウイルス (Covid-19) の「第3波」が米、欧州を中心に再び地球を覆い始めており、日本も第1波を超える深刻な事態に陥っている。そのなかでカンボジアは今年初め以来、感染者数 307 人、死者ゼロ、退院 298 人、入院治療者は 11 末現在 9 人だけ。世界保健機関 (WHO) は「カンボジアは大規模な感染の封じ込めに成功している」と評価している。

アジアでも猛威

カンボジアの近隣諸国の状況を見ると、隣国のタイでは感染者 4,026 人 (死者 60 人)、マレーシアでは感染者 67,169 人 (同 363 人) ベトナムでは 1,351 人 (同 35 人)。

さらに東南アジアや東アジアの諸国・地域を見ると、インドネシアでは感染者 54 万 3,975 人 (同 1 万 7,081 人)、シンガポールでは感染者 58,228 人 (同 29 人) 香港では 6,315 人 (同 109 人)、台湾では 679 人 (同 7 人) など。

これらと比べると、内陸の小国ラオス (感染者 39 人、死者ゼロ) には及ばないものの、WHO が指摘するようにカンボジアはコロナウイルス抑え込みに成果を上げているといえそう (各国の数字は 12 月 1 日の統計)。

「三密」なし、迅速対応

カンボジアは首都プノンペン、観光の町シエムレアプ、大規模開発が進む港湾都市シアヌークビルを除くと、人口は農村部にあまねく吸収されていて、いわゆ

る「三密」の状況ではないことが感染拡大防止に寄与していると言われるが、同時に感染リスクを抑え込むための厳しい措置に政府が素早く取り組んできたことが大きいとみられている。

11 月 3、4 の両日、東南アジア諸国歴訪の一環としてカンボジアを訪問したハンガリーのシーヤールト外相が訪問中に陽性反応をした後にとられた阻止にもそれが現れていた (写真: ハンガリー外相・左を迎えたフン・セン首相・右)。

来訪外相の感染も封殺



半年ぶりに 9 月に授業を再開したばかりの公立・私立の学校の即時閉鎖 (首都プノンペンと隣接するカンダル州全域)、外相と濃厚接触のあったカンボジア政府・民間の関係者約千人の厳重な隔離検査、さまざまな公的行事の即時中止一を実施した。

フン・セン首相、首相夫人、閣僚 4 人も隔離状態で検査を受けたため、フン・セン首相はそのとき開催されたオンラインの ASEAN 首脳会議も欠席した。



外相の車に同乗した護衛官ら 3 人が感染したことが判明しただけで、一時はカンボジア政府を慌てさせたこの訪問は、外相が急遽、予定を繰り上げて帰国したことで、それ以上の騒ぎにはならなかった。

人権では非難も

カンボジアのフン・セン政権は、ここ数年、最大野党救国党を非合法化して国会議員はすべて与党人民党議員で占めるという一党独裁体制を確立し、人権を重視する欧州連合 (EU) など諸外国からの批判が強いが、コロナウイルス対策では、この有無を言わせない強権行使が皮肉にも効果を上げているといえるようだ (写真: プノンペン近郊の縫製工場)。

1. 2020 年度 (2019・9-2020・8) 活動報告および決算報告

(1) 活動報告

◇奨学金

高校生: 2020 年度高校奨学生は 141 人。新奨学生 (10 年生) 28 人は 2019 年 6~7 月、事務局の岡宮、池内両氏が現地訪問、出身中学校長から推薦された 48 人と面接して、推薦通りに決めた。男子 22 人、女子 26 人。女子生徒が半数を超えることが多い。

11 月に事務局の久保田、岡宮両氏が現地を訪問して 141 人に年額 50 ドルのうちの前期分を届けた。

後期分は例年通り、2020 年 3 月上旬に内田、金子の 2 人が届けることにして、各学校訪問の日程も決めていた。しかし、新型コロナの感染が広がり、出発直前に計画中止を余儀なくされた。後期分奨学金は給付不能になったまま現在に至っている。

国家試験で好成績: プレイヴェン州都にあるプレアンドゥン高校は例年、州の 1~2 位を争う名門校で、2019 年度も全州で 10 人前後しか出ないという A ランクが 6 人。そのうち 2 人が日本政府の留学生試験に合格、1 人は KEAF 奨学生といううれしい話だった。プロモルプロム高校でも A が 1 人、それも全州でトップ。この生徒は中国政府留学生 (建築専攻) に合格、コンボントゥラバイ高校も A が 1 人出て、やはり中国留学が決まったという。

教員養成所奨学生: コンボントゥラバイ、タッコー、プロモルプロム 3 高校卒で 10 月の入試に合格した学生の中から高校長の推薦を受けて決めた各 2 人、2 年制なので計 12 人。年額 100 ドル。

2 年生になった 6 人のうちの 2 人と新 1 年生 6 人の奨学金は、3 月の現地訪問の際に支給することになっていたが、これもコロナ禍のために支給できないままになっている。

カンボジア政府は 2 年制の教員養成制度を 24 年度から 4 年制に拡充する計画を進めていたが、コロナ禍のなかで 2021 年度の学生募集を取りやめた。これにより 2021 年度の教員養成所奨学生はいなくなった。おそらく計画を早めて 22 年度から 4 年制度に切り替えるのではないかと思われる。

大学奨学生: 2011 年に始めた大学生への奨学金制度は、ブノンペン大学クメール語学科 Bo Sros 君が 2020 年 7 月に卒業して、終了することになっていた (奨学金は 2019 年度支給済み)。コロナ禍によって大学の講義はリモートに切り替えられ、卒業日程もずれ込んだ。

大学生奨学金は医師、教員、銀行マンなど 11 人を社会に送り出して終えた。奨学生基金は長年の支援者、楓千賀子さんが提供してくれた。楓さんに改めて心よりのお礼を申し上げる。

◇教材・学用品支援

2019 年度は予算超過、その実績分を予算化した。高校から小学校までどの学校にも図書室が設けられるようになり、その支援に力を入れている。11 月の訪問の際に補助教材、文房具などを届けた。

◇現地調査委託

コロナ禍のためカンボジア訪問ができなくなって半年、支援活動をいつ再開できるのか見当がつかない。現地情勢が全く分からないことに不安が募ったので、いつも私たちの現地での支援活動を助けてくれる日本語ガイド・ソワンさんと義弟ナットさんに、私たちに代わって現地情勢を調査してもらった。8 月 25 日から 4 日間で KEAF が支援する 5 高校、8 中学、4 小学校、1 養護施設を全部回ってくれた。その報告は会報 96 号に詳しく掲載した。

(2) 決算報告

◇概要

新型コロナの感染が世界に広がったことにより、通常であれば年間に少なくとも 3 回の現地における支援活動が 2019 年 11 月の 1 回にとどまり、支出が縮小。佐藤眞百合さんから高額献金があった。

◇決算報告書

カンボジア教育支援基金 (KEAF-JAPAN)

2020年度 収支決算報告書

(自2019年9月1日 至2020年8月31日)

2020/10/13

収入の部 (円)				支出の部 (円)			
科目	決算 (円)	予算 (円)	決算 > 予算	科目	決算 (円)	予算 (円)	決算 > 予算
一般支援活動	1,173,438	1,100,000	73,438	一般支援活動	785,966	1,207,000	(421,034)
年会費	230,000	350,000	(120,000)	1. 教材支援	83,856	207,000	(123,144)
寄付カンパ	943,438	750,000	193,438	辞書、本、文房具 (現地要望)			
				2. 支援活動費	350,723	650,000	(299,277)
				渡航費補助	120,000		
				現地コーディネーター 【注1】	227,993		
				(車、通訳、宿泊、食事他)			
				支援物資宅急便 (空港)	2,730		
				3. 事務局運営費	351,387	350,000	1,387
				会報 (年4回@700部)	310,485		
				KEAF Home Page管理	20,000		
				外国送金手数料	7,500		
				総会がき代・印刷代	9,552		
				ゆうちょ郵送通知費	3,850		
KEAF奨学金	236,000	300,000	(64,000)	KEAF奨学金 【注2】	432,771	943,000	(510,229)
高校・教員養成	236,000	300,000	(64,000)	高校生 (141名×\$25×110.26)	388,667	805,000	(416,333)
				教員養成 (4名×\$100×110.26)	44,104	138,000	(93,896)
				大学生 (2019年度で終了)			
収入合計	1,409,438	1,400,000	9,438		1,218,737	2,150,000	(931,263)
					190,701		

2020年度 活動増減表

(2019年9月1日 至2020年8月31日)

円

	1一般支援活動	2KEAF奨学金	合計
前期繰越高	2,733,810	1,137,426	3,871,236
当期収入	1,173,438	236,000	1,409,438
当期支出	785,966	432,771	1,218,737
次期繰越高	3,121,282	940,655	4,061,937

繰越金増加額 190,701

現金・預金

2020/8/31現在

小口現金	4,118
小口外貨	26,131
普通預金	549,489
郵便振替口座	3,482,199
合計	4,061,937

【注】2020年度の決算概況

2020年度 (9/1/2019-8/31/2020) は新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、カンボジアへの渡航が本来3回のところ1回しかかなわず決算に大きな影響を及ぼしました。KEAFの会計は現金主義を採用しており、実際の現金による入出金を収入および支出としております。その結果、2020年度の奨学金は一部未払いとなりました。(未収・未払金の内訳参照) 2. 支援活動費の内訳は、2019年11月の日本からの訪問費用および、当方の代理で8月に現地コーディネーターに現地状況確認依頼し発生した費用 (\$1500送金) となっています。当年度の未収・未払金は翌期に精算することとしており、2021年度予算で繰り延べています。(2021年度予算参照)

2020年度未収入金・未払金の内訳

未収入金		未払金	
コーディネーター料・前払金	\$391.75	高校生奨学金 141名×\$25	\$3,525.00
残金		教員養成奨学金 8名×\$100	\$800.00
	\$391.75		\$4,325.00

2020年8月31日現在の財政状態並びに 同日をもって終了する2020年度の収支を活動計画に基づき監査した結果、適正である事を認めます。
(2020年11月3日)

監事

山田 伸 代



2. 2021 年度（2020・9～2021・8）活動計画及び予算案

（1）活動計画

◇新学年は2021 年1 月再開

カンボジア政府は高校進学と大学進学を控えている中学・高校の3 年生だけは9 月7 日に授業を再開。中学卒業・高校進学、および高校卒業・大学進学の資格を得るための国家試験は、中学が11 月30 日、高校が12 月21 日に実施。2021 年度の新学期はいつもの11 月1 日から2 か月遅れの2021 年1 月11 日に設定した。

◇奨学金支援再開を模索

高校生奨学金：年間50 ドル。これを前記と後期の2 回に分けて、農村でもそのまま通用する米ドルの少額紙幣で支給してきた。150-140 人分の少額紙幣を銀行に用意してもらい、1 人ひとりの氏名を付した封筒に入れて現地まで運ぶのは、結構な手間とヒマのかかる作業。カンボジア現地では対応は難しい。また、新規奨学生（10 年生）を選考するには、出身中学校長の推薦、面接というプロセスが必要である。

こうした事情から、長期におよぶ活動停止の後、現地訪問が再開されてもすぐに奨学金支給が再開できるわけではない。現地訪問が繰り返して自由にできるようになるまでは、支援再開は難しいと考えている。

教員養成所奨学金：これまでは年額100 ドルで、その数も12 人に限られている。現地にしかるべき協力者が得られれば、銀行送金によって支援を継続することも可能かもしれない。しかし近々、4 年制に移行するとすれば、今のままでも人数は倍増になる。

高校生奨学金とのバランスも検討しながら、新制度への移行後にどう対応するか、カンボジアおよび日本側のコロナ情勢を注視しながら模索している。

◇クラウドファンディングの試み

KEAF 活動を継続させていくために2019 年度からクラウドファンディングによる活動資金調達に挑戦してきた。しかし、コロナ感染の広がりによって現地活動が中断され、今後の具体的な支援計画が描けない状態なので、この試みも休止している。

（2）予算

◇概要

佐藤真百合さんから大口寄付を受領した。

支出予算には2020 年で未払いの奨学金47 万円が含まれる。

2021 年度中にコロナ禍が終息して、現地支援活動を再開できる可能性は小さいと思わざるをえないが、予測の限りではない。しかし、奨学金および教材・学用品など支援がある程度再開可能になるとして、年3 回の現地訪問とそれに伴う支出を組み込んだ。

◇予算書

カンボジア教育支援基金 (KEAF-JAPAN)

2021年度 予算

(自2020年9月1日 至2021年8月31日)

2020/10/13

収入の部 (円)			支出の部 (円)		
科目	2021年度予算	2020年度実績	科目	2021年度予算	2020年度実績
一般支援活動	1,100,000	1,173,438	一般支援活動	1,207,000	785,966
年会費	350,000	230,000	1教材支援	207,000	83,856
寄付カンパ	750,000	943,438	辞書、本、文房具 (現地要望)		
			2支援活動費 【注2】	650,000	350,723
			渡航費補助 (6名)	280,000	120,000
			現地コーディネーター	360,000	227,993
			車、通訳、宿泊、食事他		
			支援物資宅急便 (空港)	10,000	2,730
			3事務局運営費	350,000	351,387
			会報 (年4回@700部)	316,400	310,485
			KEAF Home Page管理	20,000	20,000
			外国送金手数料		7,500
			総会ほか代・印刷代	9,600	9,552
			ゆうちょ郵送通知費	4,000	3,850
KEAF奨学金	1,300,000	236,000	KEAF奨学金 【注3】	1,344,750	432,771
高校・教員養成	300,000	236,000	高校生2021年度	803,000	388,667
大口寄付【注1】	1,000,000		(146名×\$50×Y110/\$)		
			*2020年度未払	387,750	
			(141名×\$25×Y110/\$)		
			教員養成2021年度	66,000	44,104
			(6名×\$100×110)		
			新1年生はなし		
			*2020年度未払	88,000	
			(8名×\$100×110)		
収入合計	2,400,000	1,409,438	支出合計	2,551,750	1,218,737
			2021年度収支見通し	(151,750)	

2021年度 活動増減表 予算

(2020年9月1日 至2021年8月31日)

(円)

	I 一般支援活動	II KEAF奨学金	合計
前期繰越高	3,121,282	940,655	4,061,937
当期収入	1,100,000	1,300,000	2,400,000
当期支出	1,207,000	1,344,750	2,551,750
次期繰越高	3,014,282	895,905	3,910,187

予算繰越金残高減少額 (151,750)

【注】2021年度予算の概要

KEAF決算書は現金主義会計を採用しており、実際の現金出入金予定に基づき予算を作成しています。

昨年2020年度の未収・未払金の繰延を2020年度予算に含めております。

【注1】(収入の部) 2020年9月に大口篤志家より奨学金使途指定にて100万円のご寄付を受領しました。

【注2】(支出の部) 2021年度の支援活動費は日本からの訪問回数を新型コロナ感染発生以前の3回と想定しています。

【注3】(支出の部) 2020年度未払奨学金 (高校生: 387,750円、教員養成: 88,000円) を含んでいます。

2021年度教員養成奨学金は、新1年生対象者が決定されておらず予算には2年生のみを対象としました。

(2021年度、為替レート: Y110/\$ (交換手数料を含む))

以上

ありがとうございました (2020年9月1日～11月24日)

年会費、寄付金、奨学金を振り込みくださった方々に厚くお礼を申し上げます

(敬称略させていただきます)

(神奈川)	(東京)	(東京)	(東京)	(東京)	(東京)	(千葉)
(千葉)	(東京)	(東京)	(東京)	(東京)	(福島)	(東京)
(東京)	・	(東京)	(東京)	(東京)	(東京)	(東京)
(東京)	(宮崎)	(東京)	(埼玉)	(神奈川)	(東京)	・
・	(大阪)	(神奈川)	(東京)	(神奈川)	(神奈川)	
(岐阜)	(東京)	(東京)	(兵庫)	(東京)	(神奈川)	
(東京)	(東京)	(東京)	(神奈川)	(神奈川)		

※お名前は個人情報なので伏せて掲載しています。

3. 支援校・施設リスト

◇小学校

ソンボン (1995.10 CEAF 建設③)
 プレイトープ (1997.8 CEAF 建設④)
 プロモルプロム (2013.11 支援開始)
 アンサー (スヴァイリエン州)

◇中学校

バンティチャクライ (1993.3 CEAF 建設①)
 プラティアート (1994.8 CEAF 建設②)
 プレイトープ
 チョーティアル (スヴァイリエン州)

◇高等学校

プロモルプロム (中・高)
 コンボントゥラバイ (同)
 タッコー (同)
 プラティアート (同、前出)
 プレアンドゥン (同、プレイヴェン市)

◇養護施設:

アスペカ (同市、5歳～18歳、約70人)
 ○内の数字は建設年次の順



写真: プノンペンにある独立記念塔

4. 役員・事務局

◇役員

理事 金子敦郎、阿木幸男、井川一久、川鍋昭彦、
 久保田信一、菅井益郎、増子建、
 森元美代治

監事: 山田伸代

顧問: 熊岡路矢

◇事務局: 岡宮喜雄 久保田信一 池内秀樹 石山路子
 佐藤三鈴 内田義博 小泉典子 安尾芳典
 金子敦郎 電話 03-3418-7003

sk-akaneko35@outlook.jp



写真: トンレサプ湖の水上スーパー